

Week of July 13, 2025 - Love I　　Small Group Lesson 28

知り合う

「愛情を込めて作られた料理は、なぜか格別に美味しく感じる」と、よく言われます。それは本当だと感じた経験はありますか？愛情のこもった食事が、特別なものと感じられる真の「隠し味」は、何だと思いますか？

聖句　コリントの信徒への手紙一 13:1-7（聖書協会共同訳）

声に出して読んでください：

1 たとえ、人々の異言、天使たちの異言を語ろうとも、愛がなければ、私は
騒がしいどら、やかましいシンバル。2 たとえ私が、預言する力を持ち、あ
らゆる秘義とあらゆる知識に通じていても、また、山を移すほどの信仰を
持っていても、愛がなければ、無に等しい。3 また、全財産を人に分け与え
ても、焼かれるためにわが身を引き渡しても、愛がなければ、私には何の益
もない。4 愛は忍耐強い。愛は情け深い。妬まない。愛は自慢せず、高ぶら
ない。5 礼を失せず、自分の利益を求めず、怒らず、悪をたくらまない。
6 不正を喜ばず、真理を共に喜ぶ。7 すべてを忍び、すべてを信じ、すべて
を望み、すべてに耐える。

簡潔に内容をもう一度確認してください。どのような励ましや挑戦、慰めなどを与えられますか?

学び

今日の聖書箇所に基づいて、次の質問を一緒に考えましょう。

1. もしクリスチャンが持つ様々な賜物（たまもの）や行いに『愛』が伴っていなければ、それらはどうなってしまうとパウロは語っていますか？その説明をするために、パウロは『たとえ、私が〜なことができたとしても...』という例を3つ挙げています。その3つの例とは、それぞれ何ですか？

2. 4節から7節で、パウロは愛が『どのようなものか』、そして『どのようなものではないか』を具体的に説明しています。リストの中から、あなたが特に心に残ったものを1つか2つ選んで、分かち合ってみましょう。そのことが、あなたにとってどういう意味を持つのかを例をあげて自分の言葉で説明してください。

3. 7節でパウロは、愛について『すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。』と語っています。この言葉から、真実の愛が持つ『強さ』や『粘り強さ（打たれ強さ）』について、どのようなことが分かるでしょうか？特に、困難な状況のとき、その愛はどのように表れるのか考えてみましょう。

分かち合い

話し合い　その１：

愛情を込めて誰かに仕えたのに、感謝されなかったり、相手の反応にがっかりしたり、ときには傷ついたりした場合、私たちはどのように対応するべきでしょうか？

もし、そのように心が傷ついたと感じるなら、私たちの愛はそもそも「真実の愛」ではなかった、ということになるのでしょうか？このようなとき、主（神様）は私たちがどう応答することを望んでおられるのでしょうか？

話し合い　その2：

真実の愛とは何ですか？あなたの持つ定義は、聖書に基づいていますか？それは、なぜですか？

具体的な祈りの課題を分かち合い、互いに仕え合いましょう。